

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月31日

計画の名称	1 北部九州のものづくり産業の成長を支える高速道路IC及び空港・港湾等への物流ネットワーク強化を図る道路整備												
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	北九州市												
計画の目標	産業拠点からインターチェンジや空港などの物流拠点への連絡を強化することにより、産業競争力の強化や新たな企業進出を促進するため、基幹的な物流ネットワークを構築する道路整備を行う。さらに、産業拠点から鉄道駅への連絡強化と交通結節機能の強化を行うことで、物流に加え人の流れの活性化と円滑化を図り、産業活動を支援する道路整備を行う。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	24,849	A	24,813	B	0	C	36	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.14	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	国道199号や(他)中原戸畑1号線など要素事業の整備により体系的な物流道路ネットワークを強化する。また、産業集積のある副都心黒崎地区では、世界的な口ポット産業拠点の形成と新たな企業立地を促進するため、黒崎駅南北連絡通路の整備により交通結節機能を強化する。 物流ネットワーク道路の供用率 (物流ネットワーク道路の供用率) = { (アクセス道路供用延長) / (アクセス道路事業延長) }	26%	40%	60%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	改築	(都)八幡鞍手線(楠橋地区)	バイパス 2.27km	北九州市						223	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-002	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	改築	(他)中原戸畑1号線	バイパス 2.1km	北九州市						15	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-003	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	改築	(他)中貫長野1号線	バイパス 2km	北九州市						49	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-004	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	改築	(1)中貫貫弥生が丘1号線	バイパス 1.63km	北九州市						0	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-005	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	改築	(他)黒崎駅南北自由通路	連絡橋新設 0.1km	北九州市						1,328	-	
		H28からP11へ移行																	
	A01-006	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(2)曾根225号線外	バイパス 0.7km	北九州市						140	-	
		H28からP11へ移行																	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(1)湯川飛行場線	バイパス 0.5km	北九州市						783	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-008	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	新設	(2)曾根223号線	バイパス 1.54km	北九州市						5	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-009	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	新設	(主)恒見朽網線(6号線)	バイパス 7.5km	北九州市						6,721	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-010	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)495号竹並バイパス	バイパス 1.7km	北九州市						7	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-011	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)199号砂津バイパス	バイパス 0.7km	北九州市						863	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-012	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)211号第1工区	現道拡幅 1.7km	北九州市						0	-	
		H28からP9へ移行																	
	A01-013	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	改築	(国)211号第2工区	現道拡幅 1.2km	北九州市						455	-	
		H28からP9へ移行																	
A01-014	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	下曾根駅前線	0.4km	北九州市						822	-		
	H28からP9へ移行																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-015	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	曽根苅田線	0.4km	北九州市						122	-	
		H28からP11へ移行																	
	A01-016	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	飛行場南線(中曽根地区 )	道路新設 0.8km	北九州市						1,458	-	
		H28よりP9から移行																	
	A01-017	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	戸畑枝光線(戸畑ランプ ~ 牧山ランプ)	バイパス 1.8km	北九州市						990	-	
		H28よりP3から移行																	
	A01-018	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	汐井町牧山海岸線	現道拡幅 0.8km	北九州市						3,320	-	
		H28よりP3から移行																	
	A01-019	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	3号線	L = 2.1km	北九州市						641	-	
		H28よりP2から移行																	
	A01-020	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日明渡船場線(中原工区 )	L = 1.9km	北九州市						563	-	
		H28よりP2から移行																	
A01-021	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日明渡船場線(日明工区 )	L = 0.8km	北九州市						127	-		
	H28よりP2から移行																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-022	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日明渡船場線(中井工区)	L = 1.2km	北九州市						50	-		
		H28よりP2から移行																		
	A01-023	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	砂津長浜線	L = 0.9km	北九州市						3,260	-		
		H28補正よりP9から移行																		
	A01-024	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	城山西線	L = 0.7km	北九州市						1,383	-		
		H28補正より都市再生整備計画から移行																		
	A01-025	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	日明渡船場線(中原工区)	L = 3.1km	北九州市						1,488	-		
		A-20、22を統合																		
												小計						24,813		
											合計						24,813			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	C01-001	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	施設整 備	筑鉄穴生駅EV設置	EV 2 基	北九州市						36		-	
		穴生駅へエレベータを設置することで施設の利便性向上、多様な移動手段の確保により鉄道駅への連絡強化が図られ、道路改築事業（1-A5）と一体となって交通結節機能強化に寄与する。																		
	C01-002	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	-	計画調 査	交通量調査	交通量調査	北九州市						0		-	
		計画の最初と最後に市内の交通量調査を実施し、道路事業の進捗や整備効果の検証に活用する。また、今後整備を実施していく道路事業などの必要性・効果の検証に活用する。																		
												小計						36		
											合計						36			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
北九州市建設局道路部道路計画課が事後評価を実施。 学識経験者に意見聴取を実施。 北九州市立大学 地域戦略研究所 内田教授 九州工業大学 大学院工学研究院 寺町准教授	令和3年度
	公表の方法
	北九州市ホームページに掲載。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	「飛行場南線」の整備により、北九州空港跡地産業団地と国道10号のアクセス強化が図られるとともに、JR日豊本線により分断されていた小倉南区曾根周辺の東西地区の連絡強化が図られ、北九州空港や自動車専用道路へのアクセス性が向上した。 また、「一般国道199号（砂津バイパス）」の整備により、本路線が直結する都市高速道路（小倉駅北出入口）へのアクセス性が向上し、「中原戸畑1号線」の整備により、若松方面臨海部へのアクセスが改善された。さらに、小倉都心地区と戸畑・若松方面を結ぶ「日明渡船場線」、小倉都心地区と黒崎副都心部を結ぶ「都市計画道路3号線」の整備により、アクセス性の向上が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	「飛行場南線」の整備により、曾根出張所交差点や津田西交差点に集中する交通の分散化に寄与し、さらに、「日明渡船場線」の整備により、国道199号の代替経路として、中井交差点の渋滞解消に寄与している。いずれも主要渋滞箇所指定されており、アクセス性向上のみならず、安全性向上、渋滞解消といった効果発現が図られている。 また、「一般国道199号（砂津バイパス）」の整備により、屈曲部の線形が改善され、円滑な交通と、交通の安全性を確保し、渋滞緩和や交通事故軽減にも寄与している。「中原戸畑1号線」の整備は、国道199号の通過交通の一部を転換し、渋滞緩和に寄与した。
特記事項（今後の方針等）	
本市の道路を取り巻く状況としては、道路整備による渋滞箇所の解消が見られるが、依然として多くの渋滞箇所が存在しており、産業競争力の強化や新たな企業誘致を促進するため、物流ネットワークの形成を図る必要がある。 今後も、これらの課題解決に取り組むため、次期整備計画において、事業継続中の（都）6号線（恒見朽網線）や戸畑枝光線（戸畑ランプ～牧山ランプ）等の道路整備を推進し、企業誘致や地場産業の振興に寄与する道路ネットワークの形成を図るとともに、渋滞箇所の解消や交通混雑緩和を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	物流ネットワーク道路の供用率	
	最終目標値	60%
	最終実績値	47%
		「飛行場南線」の整備により、北九州空港跡地産業団地への物流ネットワークが構築され、「一般国道199号（砂津バイパス）」や「中原戸畑1号線」などの整備により、都市高速道路や若戸トンネルへのネットワークが強化された。差が出た要因としては、「恒見朽網線（曽根新田工区）」、「湯川飛行場線」、「砂津長浜線」の整備に想定以上の期間を要し、目標の供用率に到達しなかった。